

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年2月21日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年2月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機原子炉格納容器ガス管理設備の核種分析装置盤(B)の不具合について】 当社運転員が、免震重要棟集中監視室において、「核種分析装置盤(B)伝送異常」の警報が発生し、1号機原子炉格納容器ガス管理設備の核種分析装置盤(B)系の監視ができないことを確認。 現場確認の結果、現場監視用計器においても監視ができないことを確認したことから、希ガス放射線モニタ(B)系の監視不能と判断。 なお、希ガス放射線モニタについては、希ガス放射線モニタ(A)系で監視が可能のため、問題はない。 その後、希ガス放射線モニタ(B)現場監視用計器の再起動を実施し、希ガス放射線モニタ(B)系の指示が通常状態に復帰したことから、希ガス放射線モニタ(B)は監視可能と判断。 今後、当該の希ガス放射線モニタ(B)現場監視用計器を交換予定。交換後、メーカーにて原因調査予定。</p>	G II	2月19日
2	<p>【大型機器除染設備の除染装置不具合について】 協力企業作業員が、タンク除染作業中に、除染装置の故障を示す警報の発生および、除染装置の自動停止を確認。 現場調査の結果、運転不能と判断。 今後、原因を調査し、修理予定。</p>	G III	2月15日